

本番 ESA トラフィックを受け入れる設定 ベータ ESA

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定 ベータ アプライアンス](#)

[ベータ ESA のためのリスナー設定](#)

[ベータ ESA のための送信側 グループ](#)

[ベータ ESA のための Simple Mail Transfer Protocol \(SMTP \) ルーティング](#)

[ベータ ESA のための着信 リレー](#)

[メール内のスパム評決をキャプチャする イネーブル ログ ヘッダは記録します](#)

[設定本番アプライアンス](#)

[本番 ESA のための SMTP ルーティング](#)

[バウンス プロファイル作成](#)

[宛先制御プロファイル作成](#)

[本番 ESA のためのメッセージ フィルター構築](#)

[バウンス プロファイル作成](#)

[宛先制御プロファイル作成](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[追加情報](#)

[関連情報](#)

概要

この資料にメッセージ フィルターで本番 ESA トラフィックを受け入れるためにベータ Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) を設定する方法を記述されています。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメン

トで使用されるすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

ベータ アプライアンスを設定して下さい

ベータ ESA のためのリスナー設定

最初のリスナー設定はベータ ESA で完了するべきです。

1. GUI から、**ネットワーク > リスナー**へのナビゲート。
2. 『Add』 をクリックして下さい**リスナーを...**
3. 名前および TCPポート 25 で動作する公共リスナー設定される。
4. 公共リスナーへの変更を保存するために『SUBMIT』 をクリックして下さい。
5. 同じステップを繰り返し、第 2 リスナーを追加して下さい。
6. 名前および TCPポート 26 で動作する私用リスナー設定される。（このリスナーは送信メールのために使用されます。）環境のために利用可能な、設定される追加インターフェイスがある場合ポート 25 を使用することができます。CES によってホストされるベータ環境は発信のためにポート 587 を予約しました。
7. リスナーへの変更を保存する**送信する**。
8. 設定へのすべての変更を保存するために**託して下さい**。

ベータ ESA のための送信側 グループ

中継で送られたトラフィックが送信メッセージに関しては、受け入れるためにベータ ESA のための適切な IP アドレスおよび本番 ESA からの中継通信文で追加して下さい。

1. GUI から、**ポリシー > 帽子概要を郵送するためにナビゲート**して下さい。
2. 適切に**ネームド リレー 送信側 グループ**を選択して下さい。（これは通常リレー、か RELAYLIST と指名されます。）
3. 『Add』 をクリックして下さい**送信側を...**
4. 送信側に関しては、本番 ESA の IP アドレスを使用して下さい。
5. 必要に応じて管理上のコメントを、入力して下さい。
6. リレー 送信側 グループへの変更を保存するために**入れて下さい**。
7. 設定へのすべての変更を保存するために**託して下さい**。

ベータ ESA のための Simple Mail Transfer Protocol (SMTP) ルーティング

ベータ ESA で行う必要がある SMTP ルート変更を次の通りです:

1. GUI から、**ネットワーク > SMTP ルーティング**へのナビゲート。
2. 現在の SMTP ルーティングがある場合、続行する前にそれらおよび**削除**を選択する必要がある場合もあります。（ベータ ラボのセットアップ ガイドを検討するために確認して下さい。）
3. 『Add』 をクリックして下さい**ルートを...**
4. **cisco.com** として受信ドメインおよび **USEDNS** として宛先を設定して下さい。
5. [Submit] をクリックします。
6. 同じステップを繰り返し、SMTP ルートをすぐに追加して下さい。

7. ironport.com のためのドメインおよび宛先の USEDNS として受信を設定して下さい。
8. [Submit] をクリックします。
9. 最終的には、ドメインの受信からの他のドメインを『All』を選択して下さい。
10. /dev/null として宛先を設定して下さい。（これは設定されないあらゆるドメインのためのベータ アプライアンスからメールをルーティングすることを防ぎます。）
11. [Submit] をクリックします。
12. 設定へのすべての変更を保存するために託して下さい。

現時点で、ベータ アプライアンスの SMTP ルーティングはイメージに示すようにあります:

SMTP Routes List		Items per page 20
Add Route...		Clear All Routes Import Routes...
Receiving Domain	Destination Hosts	All Delete
.ironport.com	usedns	<input type="checkbox"/>
cisco.com	usedns	<input type="checkbox"/>
All Other Domains	/dev/null	<input type="checkbox"/>
Export Routes...		Delete

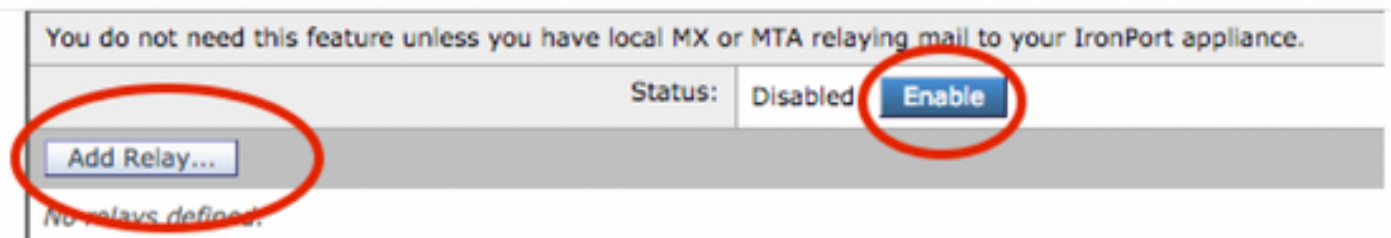
注: メールを必要に応じてドメインのためにエンドユーザをテストするために渡すように適切なルートを追加して下さい。

ベータ ESA のための着信 リレー

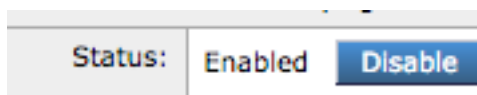
着信 リレー設定はベータが本番 ESA の SBRS スコア beyond を取得するようにします。

ほとんどのコンフィギュレーションは 1 ホップと機能します。

1. GUI、ネットワーク 着信 リレーへのナビゲート。
2. それをカラーで白い回す Click "Enable".
3. リレーを『Add』をクリックして下さい。
4. 「名前」は名前を選択します。
5. ベータ ESA に渡す本番 ESA の「IP アドレス」値。部分的なホスト名はマルチプルホストが渡す場合受諾可能です。
6. 「ホップ:」1
7. 変更を送信して確定します。



着信 リレー: 使用不可状態。



着信 リレー: 使用可能状態、カラリングされた白。

Add Relay

Incoming Relay

Name:

IP Address:

Header: Specify a custom header

Parse the "Received" header

Begin parsing after:

Hop:

YOUR Production ESA IP ADDRESS

This will retrieve the sbrs score, one HOP beyond the connecting ip address

着信 リレー: サンプル テンプレート

Relay List

You do not need this feature unless you have local MX or MTA relaying mail to your IronPort appliance.

Status: **Enabled** Disable

final preview

Add Relay...

Name	IP Address	Header	Parse After	Hops	Delete
Your_Production	replace with you prod ip	Received	from	1	

着信 リレー: 送信するの後の概要ビュー。

サンプル メール Log エントリ:

月曜日 4 月 8 日 12:48:28 2019 年情報: MID 2422822 IncomingRelay(PROD_hc2881-52): 、使用される IP 54.240.35.22 見つけれられる受け取ったヘッダ SBRs 3.5 ケ 国米国

メール ログ内のスパム評決をキャプチャ する イネーブル ログ ヘッダ

- Webui > > > > X IronPort

Log Subscriptions Global Settings

Edit Global Settings

System metrics frequency: seconds

Logging Options:

- Message-ID headers in Mail Logs
- Original subject header of each message
- Remote response text in Mail Logs

Headers (Optional): List any headers you want to record in the log files:

Cancel Submit

BETA 側設定の END。

設定本番アプライアンス

注意：本番 ESA への変更を行なうことを約あります。現在のコンフィギュレーションをバックアップするようにして下さい。

1. GUI から、システム 管理 > コンフィギュレーション ファイルにナビゲートして下さい。
2. 現在のコンフィギュレーション セクションから、ファイルとして現在のコンフィギュレーションをバックアップするオプションの 1 つを選択して下さい: 表示するか、または保存するためにローカル コンピュータにファイルをダウンロードして下さい。ファイルを電子メールで送って下さい: < your_email_address@domain.com >
3. [Submit] をクリックします。

本番 ESA のための SMTP ルーティング

SMTP ルーティングは本番 ESA からのベータ ESA にすべての受信および送信 メールのための BCC を許可するために追加する必要があります。この例に関しては、inbound.beta.com および outbound.beta.com は使用されます。

1. GUI から、ネットワーク > SMTP ルーティングへのナビゲート。
2. 『Add』 をクリックして下さいルート...
3. ドメインを 25 にポートが設定されていると、先に作成されるベータ アプライアンス公共リスナーの IP アドレスとして宛先との inbound.beta.com として受け取ることを設定して下さい。
4. この新しい SMTP ルートへの変更を保存するために 『SUBMIT』 をクリックして下さい。
5. 同じステップを繰り返して下さい、追加して下さいルート...
6. 26 に、およびポートを先に作成されるベータ アプライアンス 私用リスナーの IP アドレスとして outbound.beta.com として受信ドメイン、宛先ホスト 設定して下さい。
7. この新しい SMTP ルートへの変更を保存するために入れて下さい。
8. 設定へのすべての変更を保存するために託して下さい。

現時点で、イメージに示すように本番 ESA の SMTP ルーティング:

SMTP Routes List		Items per page 20
Add Route...		Clear All Routes Import Routes...
Receiving Domain	Destination Hosts	All Delete
cisco.com		<input type="checkbox"/>
esatest.onmicrosoft.com	smtp.office365.com:587	<input type="checkbox"/>
inbound.beta.com	172.18.250.222	<input type="checkbox"/>
ironport.com		<input type="checkbox"/>
outbound.beta.com	172.18.250.222:26	<input type="checkbox"/>
All Other Domains	/dev/null	<input type="checkbox"/>
Export Routes...		Delete

バウンス プロファイル作成

組み合わせバウンス プロファイルおよび宛先 コントロール プロファイルは遅延か失敗と関連付けられた複雑な状況から本番メール フローをベータ ホストにメッセージを提供する保護します。この設定はベータ メッセージにだけ適用されます。

1. GUI から、ネットワーク > バウンス プロファイル > Add バウンス プロファイルへのナビゲート。
2. 再試行の最大数: 15
3. キューの最大時間: 130
4. メッセージごとに待つ最初の時間: 60

5. メッセージごとに待つ最大時間: 60
6. 送信ハードなバウンス メッセージ: NO
7. 送信遅延警告メッセージ: NO
8. Domain 鍵署名を跳ね上げりのために使用し、メッセージを遅らせます: NO
9. この新しいバウンス プロファイルへの変更を保存する送信する。
10. Committo 保存はすべて設定に変更します。

Add Bounce Profile

Profile Name:

Maximum Number of Retries:
(between 0 and 10000)

Maximum Time in Queue: seconds
(between 0 and 3000000)

Initial Time to Wait per Message: seconds
(between 60 and 86400)

Maximum Time to Wait per Message: seconds
(between 60 and 86400)

Hard Bounce and Delay Warning Messages:

Send Hard Bounce Messages:

Use Default (Yes) Yes No

Use DSN format for bounce messages:

Use Default (Yes) Yes No

Message Composition

Message Subject:

Parse DSN "Status" field from bounce responses: Use Default (No) Yes No

Notification Template: *Bounce Notification Template can be defined at Mail Policies > Text Resources.*

Message Language	Template	Preview	Delete
Default	System Generated		

Send Delay Warning Messages:

Use Default (No) Yes No

Message Composition

Message Subject:

Notification Template: *Bounce Notification Template can be defined at Mail Policies > Text Resources.*

Message Language	Template	Preview	Delete
Default	System Generated		

Minimum Interval Between Messages: seconds

Maximum Number of Messages to Send:

Recipient for Bounce and Warning Messages:

Message sender

Alternate:

Use Domain Key Signing for Bounce and Delay Messages:

Use Default (No) Yes No

There is no signing profile matching bounce from address MAILER-DAEMON@bluedevil.rtp. Bounce messages will not be signed until you create appropriate signing profile.

バウンス プロファイル作成

注: 上記の番号を付けられた値はベータ ホストに配信割り込みの場合に配信キュー バックアップを防ぐために非常に積極的に設定されます。値はプリファレンスに修正されるかもしれませんが。通知設定はどのユーザ通知でも BCC フィルタから渡されることを防ぐために計画的ににいいえ行われません。

宛先制御は作成をプロファイルします

1. GUI から、ポリシー > 宛先を郵送するナビゲートは > Add 宛先を制御します。
2. Destination : **inbound.beta.com**

3. バウンス確認: > アドレス タグ付けを行って下さい: > またはデフォルト (いいえ)
4. バウンス プロファイル: BETA_BOUNCE
5. 他の値は管理者のプリファレンスに基づいて設定されるかもしれません。
6. この新しい宛先 コントロール プロファイルへの変更を保存する送信する。
7. 宛先を使用してステップ 2 - 6 を繰り返して下さい: outbound.beta.com
8. この新しい宛先 コントロール プロファイルへの変更を保存するために入れて下さい。
9. 設定へのすべての変更を保存するために託して下さい。

Destination Controls configuration page. The 'Destination' field is set to 'inbound.beta.com'. The 'Limits' section includes 'Concurrent Connections' (Maximum of 500), 'Maximum Messages Per Connection' (Maximum of 50), and 'Recipients' (Use Default (No Limit)). The 'Apply limits' section is set to 'System Wide'. The 'Bounce Verification' section has 'Perform address tagging' set to 'No'. The 'Bounce Profile' is set to 'BETA_BOUNCE'.

宛先 コントロール プロファイルを追加して下さい。

Domain	IP Address Preference	Destination Limits	TLS Support	DANE Support	Bounce Verification *	Bounce Profile	All Delete
inbound.beta.com	Default	500 concurrent connections, 50 messages per connection, Default recipient limit	Default	Default	Off	BETA_BOUNCE	<input type="checkbox"/>
outbound.beta.com	Default	500 concurrent connections, 50 messages per connection, Default recipient limit	Default	Default	Off	BETA_BOUNCE	<input type="checkbox"/>

新しい宛先 コントロール プロファイルの概要ビュー。

本番 ESA のためのメッセージ フィルター構築

本番 ESA の CLI から、ベータ ESA の適切なリスナーに BCC メールできるメッセージ フィルターを組み立てて下さい。

1. フィルタへのナビゲート > 新しい。
2. このメッセージ フィルター例をコピー アンド ペーストし、変更をどこにでも適切行なって下さい:

```

bcc-EFT: if sendergroup == "RELAY" {
bcc ("$enveloperecipients", "$Subject", "$EnvelopeFrom", "outbound.beta.com");
log-entry("<====BCC COPY TO BETA ESA====>");
} else {
bcc ("$enveloperecipients", "$Subject", "$EnvelopeFrom", "inbound.beta.com");
log-entry("<====BCC COPY TO BETA ESA====>");
}

```

3. 主要な CLI プロンプトに戻ってあるまで戻して下さい。
4. 設定へのすべての変更を保存するために託して下さい。

注: sendergroup に、recv リスナー、mail-from、または他の利用可能なルールおよび構文に基づいてメッセージ フィルターでコピーされるトラフィックを制限して下さい。 サマリ メッセージ全体 フィルタ規則およびフィルタ規則のための ESA ユーザガイドを参照して下さい。

プロファイル作成を跳ねて下さい

宛先制御は作成をプロファイルします

確認

このセクションでは、設定が正常に機能していることを確認します。

現時点で、ベータ アプライアンスは本番アプライアンスからのメールトラフィックを受け入れません。ベータ アプライアンスの CLI から確認するために、末尾 `mail_logs` を実行して下さい:

```
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: New SMTP ICID 2 interface Management (172.18.250.222) address
172.18.250.224 reverse dns host dhcp-172-18-250-224.cisco.com verified yes
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: ICID 2 RELAY SG RELAY match 172.18.250.1/24 SBRS not enabled
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: Start MID 2 ICID 2
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: MID 2 ICID 2 From: <test@test.com>
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: MID 2 ICID 2 RID 0 To: <robsherw@ironport.com>
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: MID 2 Message-ID '<a033ed$2@9.9.5-038.local>'
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: MID 2 Subject 'TEST 2'
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: MID 2 ready 320 bytes from <test@test.com>
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: MID 2 matched all recipients for per-recipient policy DEFAULT in
the outbound table
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: MID 2 queued for delivery
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: New SMTP DCID 3 interface 172.18.250.222 address 173.37.93.161
port 25
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: Delivery start DCID 3 MID 2 to RID [0]
Wed Mar 23 17:28:44 2016 Info: Message done DCID 3 MID 2 to RID [0]
Wed Mar 23 17:28:44 2016 Info: MID 2 RID [0] Response '2.0.0 u2NHSipG018673 Message accepted for
delivery'
Wed Mar 23 17:28:44 2016 Info: Message finished MID 2 done
Wed Mar 23 17:28:48 2016 Info: ICID 2 close
Wed Mar 23 17:28:49 2016 Info: DCID 3 close
```

SMTP 通信は 172.18.250.222 (ベータ アプライアンス) で確立します。トラフィックが送信されるアドレスはからです 172.18.250.224 (本番アプライアンス) あります。

送信側 グループは通信を受け取るリレー、172.18.250.1/24 ネットワークからの中継で送られたトラフィックです。

他は TEST 2 メッセージの通信です。

本番アプライアンスで、末尾 `mail_logs` を確認し、実行して下さい。本番で処理された MID は示します:

```
Wed Mar 23 14:50:10 2016 Info: MID 242 was generated based on MID 241 by bcc filter 'bcc-EFT'
```


これは BCC'd 受信のために意図されているようにベータ アプライアンスおよびテスト エンドユーザに受け取られるように電子メール メッセージの明解な分裂であり。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

追加情報

コンテンツ フィルタは本番の対テスト エンドユーザ用のベータ メール トラフィック区別を助けるために考慮されるかもしれません。

1. ベータ ESA の GUI から、**ポリシーを > 着信コンテンツ フィルタ郵送するか、またはポリシーを郵送するナビゲート > 発信コンテンツ フィルタ。**
2. add の操作を行うために基本的なコンテンツ フィルタを組み立てて下さい/ヘッダを編集して下さい。
3. 組み立てられるコンテンツ フィルタへの変更を保存するために『SUBMIT』 をクリックして下さい。
4. **ポリシー > 着信メール ポリシーを郵送しか、またはポリシーを > 発信 Mail ポリシー郵送し、ポリシー名に新しいコンテンツ フィルタを有効にし、追加して下さい。**
5. そのポリシーにコンテンツ フィルタを保存するために『SUBMIT』 をクリックして下さい。
6. 設定へのすべての変更を保存するために**託します**をクリックして下さい。

現時点で、ベータ ESA のコンテンツ フィルタはイメージに示すようにあります：

Content Filter Settings			
Name:	<input type="text" value="Bellagio_Subject_Tagging"/>		
Currently Used by Policies:	Default Policy		
Description:	<input type="text" value="Prepend BETA PROCESSED tag to subject line for all emails processed through this ESA"/>		

Conditions	
<input type="button" value="Add Condition..."/>	
There are no conditions, so actions will always apply.	

Actions			
<input type="button" value="Add Action..."/>			
Order	Action	Rule	Delete
1	Add/Edit Header	edit-header-text("Subject", "(.*)", "[BETA PROCESSED]\\1")	

電子メール メッセージがベータ ESA で受け取られるときこの場合、一度イメージに示すように処理されるメールの件名でこれを次のように表示できます：

[BETA PROCESSED]TEST 3



test@test.com <test@test.com>

Wednesday, March 23, 2016 at 3:01 PM

To:

hello

関連情報

- [ステージング更新のための ESA/SMA の設定方法](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)